

# ミレニアの米国がん研修

研修地： カリフォルニア州 ロサンゼルス

対象： 医師、看護師、薬剤師、放射線技師、  
ソーシャルワーカー 他



✓ **研修内容** (ニーズに合わせてカスタマイズ可、裏面のサンプルスケジュール参照)

## 米国の癌治療の実際についての解説・ディスカッション

視察先での理解を深める為、米国での癌の診断から治療終了までのサービスの流れやチーム医療体制など必要な予備知識を効率よく解説します。また、米国では癌の診断・治療目的の平均入院日数が6.5日である点や、癌治療が多数の専門医が連携しながら進める点、服薬指導は病棟看護師がする点など、日本との違いを押しえながら説明します。

## 癌専門病院として全米ベスト20に入り、先端治療において世界的に有名な米国癌協会認定・癌総合センターの視察及びスタッフとのディスカッション

癌治療の飛躍的進歩をもたらしたトラスツズマブ、リツキシマブ、ベバシズマブなどの多くの薬はここで開発され、患者の40%は臨床試験段階の治療を受けているほどのリサーチに強い点が特徴の施設。腫瘍専門内科医とのディスカッションで今の米国の最新治療トレンドを学ぶと共に、学会参加で講義を聴講するだけでは分からない新薬の実際の使い心地や効果について理解できます。

✓ **「ここが違う！」ミレニアの米国医療研修**

### ① 職人技 コーディネート

20年以上の医療研修実績から培ったノウハウで、お客様の研修希望内容をしっかり把握し、講師や視察現場スタッフと何度も事前に打ち合わせ、万全に準備します。

### ② とにかく分かりやすい！ 通訳

日米の医療現場を熟知し、インタビュー能力の優れたプロだからこそできる通訳。米国人現場スタッフと自由に意思疎通ができるから、ストレスがありません。



✓ **過去の医療研修実績例**

東京大学附属病院、山口大学附属病院、福井大学附属病院、大分大学附属病院、名古屋市立大学病院  
徳洲会グループ 看護部、厚生労働省、ジェットロ、看護協会(徳島、山口、岐阜、群馬など)、他

✓ **過去の研修参加者のコメント**

「研修中に腫瘍内科専門医、腫瘍放射線専門医、各種癌専門外科医、緩和ケア専門医など様々な医師と面談でき、米国の先端治療や現場の課題、チーム医療を成功させるコツなどを含めて自分の興味があった事が十分学べた。専門の通訳がいて質問がスムーズにでき、深い内容のディスカッションができた事に感謝する。」  
(名古屋市立大学病院 消化器・一般外科 医師)

# ✓ サンプル・スケジュール

日程	午前	午後
1	<b>講義</b> <b>◆ 米国医療制度概要</b> - 各医療サービスと患者の流れ・日米比較 - DRG制度(疾病別包括支払い方式)採用による在院日数短縮等の医療システム変換 - 医療保険制度とマネージドケア (公的医療保険・民間医療保険とマネージドケアの仕組み)  または <b>◆ 看護師(日本人)による講義</b> (トピック例) - 医師、看護師、薬剤師それぞれの役割 日米比較 - 病棟での多職種連携の実際(症例紹介) - 退院後の地域連携	<b>現場視察① 米国癌協会認定 癌総合センター</b>  <b>・癌専門医によるプレゼンテーション・質疑応答</b> (トピック例) - 同病院の癌プログラム概要と多種専門医チーム体制 - 入院期間及び外来ベースでの医師の介入の実際 - 患者とのコミュニケーションで大切にしている事  <b>・施設ツアー</b> (内容例:入院病棟、外来センター、ホスピス・エリア、薬剤部)  <b>・患者サポートセンター見学と患者ナビゲーターによるプレゼンテーション・ディスカッション</b> (トピック例) - サポートグループやカウンセリングサービスの紹介 - 患者ナビゲーターの役割と業務内容、メリット
	<b>現場視察② UCLA大学病院</b>  <b>・固形癌ユニットの現場視察・看護師との面談</b>  <b>・緩和ケア専門クリニカル・ナーススペシャリストによるプレゼンテーション・ディスカッション</b> (トピック例) - 緩和ケアプログラム概要 - 緩和ケアチームのメンバーと業務内容 - 患者アセスメントと緩和ケア計画の作成の実際 - 退院後の地域連携	<b>引き続き UCLA大学病院にて</b>  <b>・血液がんユニットの現場視察・看護師長とのディスカッション</b> (トピック例) - 癌治療の実際:使用されている化学療法レジメン、副作用対策 感染管理、患者教育、他 - 看護師の専門教育  <b>・外来化学療法ユニットの現場視察</b>  <b>・癌病棟内薬局の現場視察・薬剤師との質疑応答</b> (トピック例) - 薬剤師の役割、医師・看護師との連携の実際 - 癌にまつわる薬剤トレンド
2	<b>現場視察③ 小児専門病院</b>  <b>・がんユニットの現場視察・看護師長との質疑応答</b>  <b>・外来がんユニットの現場視察・管理者との質疑応答</b>  <b>・放射線部門の視察・放射線技師との質疑応答</b> または <b>・癌担当臨床ソーシャルワーカーによるプレゼンテーション</b> (トピック例:癌患者と家族に対する精神サポートの実際)	<b>現場視察④ 大手コミュニティ病院</b>  <b>・がんユニットの現場視察・管理者との質疑応答</b>  <b>・婦人科癌ナースナビゲーターによるプレゼンテーション・ディスカッション</b> (トピック例) - 癌プログラムの概要 - ナース・ナビゲーターの役割・業務内容 - 継続ケアと地域連携  <b>・癌専門外来センターの見学(2010年オープン)</b> (内容例:最先端の技術を活用した診断室、放射線治療室)  <b>米国癌研修 修了書の授与</b>
	3	3

視察先の事情により、研修先・内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

作成:ミレニアエデュケーション Copyright © Millennia Education 2013 本紙の無断複写・改造を禁止します。

お問い合わせ

ミレニア・エデュケーション

Millennia Holdings, Inc.

E-mail: [info@iryu-kenshu.com](mailto:info@iryu-kenshu.com)

Web: [www.iryu-kenshu.com](http://www.iryu-kenshu.com)

Tel: 1(米国 国番号)-213-252-1230